



相ノ木っ子だより



令和5年度
10月号
上市町立
相ノ木小学校



全国学力・学習状況調査結果から



4月に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果から本校児童の傾向についてお伝えします。まず、各教科（国語、算数）の学力調査は、全体的に無答が少なく、一生懸命学びに取り組もうとする主体性を感じました。また、文章や資料の読み取りや要約、数や図形に関する知識・技能等の分野における正答率が高く、相ノ木っ子のよさがたくさん見つかりました。

ただ、国語では、目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめたり、文章と図表等を結び付けて考えたりする力に課題が見られました。算数では、知りたい数量の求め方を式や言葉を用いて表したり、図形の性質を使って求めたりする記述式の問題に課題が見られました。どちらの教科においても自分の考えを説明したり記述したりして表現する部分に課題があります。

そこで、学校の授業では、原因と結果、意見と根拠等を捉えながら文章を読んだり書いたりする活動、資料等を総合的に関連させたりノートに整理したりしながら自分の考えを明確にする活動、具体物や図等を用いて多様に表現したり友達と確認したりして説明力を身に付ける活動を一層推進していきたいと考えます。

次に、質問紙による学習状況調査については、「毎日朝食をとっている」「同じ時刻に起床している」等の生活習慣が身に付いている子供が多いです。また、「先生はよいところを認めてくれている」「学校に行くのが楽しい」「困りごとや不安があるときに先生や大人にいつでも相談できる」と答える子供が多く、安心して学校生活を送っている様子が伺えます。そして、「自分によいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」と、自己肯定感をもって未来へ前向きな思いを抱いている子供が多いことはうれしい限りです。

ただ、課題としては、家庭学習や家庭で読書に取り組む時間が少なく、テレビゲームやスマートフォンを使ったSNSや動画視聴をする時間が長いことや就寝時刻が遅いことが挙げられます。ゲームや動画の楽しさはよく分かりますし、気分転換にもなるのですが、興味のあることへの自主学習、活字に触れる機会、体験的な遊び等にももう少し時間をかけることが必要だと思います。そのような生活を目指すことが、きっと学力調査における課題の解消にもつながるでしょう。

そこで、30日からの家庭学習がんばり週間の前に、子供たちが興味のある分野に取り組むきっかけになればと思い、「^{がくしゅう}楽修のすすめ」を配付します。ご家庭でも参考にさせていただけるとありがたいです。実りの秋、家庭学習も充実し、子供たちの力が一層高まることを願っています。

運動会開催



9月30日（土）穏やかな天候の下、相ノ木地区大運動会を行いました。今年は4年ぶりに来賓の方をお招きし、参観者の制限もなく、来入児童競技や来賓・PTA種目を実施し、ほぼコロナ禍前と同じようなプログラムで開催しました。6年生は夏休み中から、そして9月14日の結団式からは、全校児童が本番に向けて力と心を合わせて一生懸命に練習してきました。その成果を十二分に発揮し、一人一人が活躍した運動会になったと思いま

す。特に、親子の絆と和やかな雰囲気が滲み出ていた親子競技、意地のぶつかり合いと熱い戦いを見せてくれた騎馬戦や綱引き等、一日開催のよさを感じました。あいにく閉会式終了直前に雨が降り出しましたが、子供たちは最後まで力を尽くしてがんばっていましたし、保護者の皆さんはテント等の片付けを一生懸命手伝って下さいました。相ノ木っ子、ご家族、地域の皆さんとの絆を深めた一日であったことが何よりうれしかったです。

子供を追い詰める「毒語」

10月9日（月）の朝日新聞に「先生の不適切な言動 防ぐには」という記事が掲載されていました。東京都の特別支援学校の先生が書かれた主に教員向けの記事で、『体罰や虐待ほどではないが、知らず知らずのうちに、または正しい指導だと錯覚して、適切でない発言や指導で子供の心を傷つけ、追い込んでしまうことがある。指示通りに動かない子を前にすると、つい心に傷をつける恐れのある「毒語」を吐いてしまうことがある』と警告しておられました。その「毒語」の具体例として次のような例が挙げられていました。

- 質問形式の問い詰め：何回言われたら分かるの？、どうしてそういうことをするの？
- 裏を読ませる：やる気がないだったらもうやらなくていいから（⇒早くやりなさい）
- 脅しで動かそうとする：早くやらないと〇〇させないよ
- 虎の威を借る：お母さんに言おうか
- 下の世代・年代との比較：そんなこと小学生でもやりません
- 見捨てる：じゃあ、もういいです

学校では先生方に知らせて注意を促しましたが、家庭でもよく使っていませんか？私も家ではよく言っていたと思います。そして、思い出してみると、このような言葉を使うときは、心に少しゆとりがなくなり、イライラしているときが多かったように思います。「ちゃんとして」ともよく言いますが、「ちゃんとする」が具体的にどうすればよいのかが伝わらなければ、こちらの感情的な毒語としてしか子供には伝わらないようにも思います。

筆者は『子供の意欲は内側からしかわいてきません。子供が主体的な行動を起こすには「安全基地」の機能を果たす大人が必要で、それは教室で言えば教師、家庭なら保護者です』と書いておられます。子供が大人の思い通りに動かないとき、イラっとすることはありますが、その感情をそのまま言葉にするのではなく、難しいことですが一呼吸置くことができるように心がけたいと思います。子供たちが主体的に行動し、健やかに成長するための安全基地に、教室や家庭がなれるようにしていきましょう。

行事予定(10月中旬～11月中旬)

10月16日（月）	水泳教室（3・4年）	10月27日（金）	就学時健康診断	
18日（水）	委員会活動6限		下校 1・2・3・4・6年 12:10	
20日（金）	学習参観・学校保健委員会		5年 15:20	
	親子下校 15:30	11月 3日（金）	(祝)文化の日	
24日（火）	4年生校外学習	6日（月）	水泳教室（1・2年）	
	(四季防災館)	7日（火）	研修会のため 下校 12:20	
	5年生保育園訪問	8日（水）	水泳教室（3・4年）	
	(相ノ木保育園)	10日（金）	水泳教室（5・6年）	
		17日（金）	学習発表会	

